

フジテック(株) (東証・大証1部 Code 6406)
2008年3月期 中間決算説明会

November 13, 2007

FUJITEC

説明項目

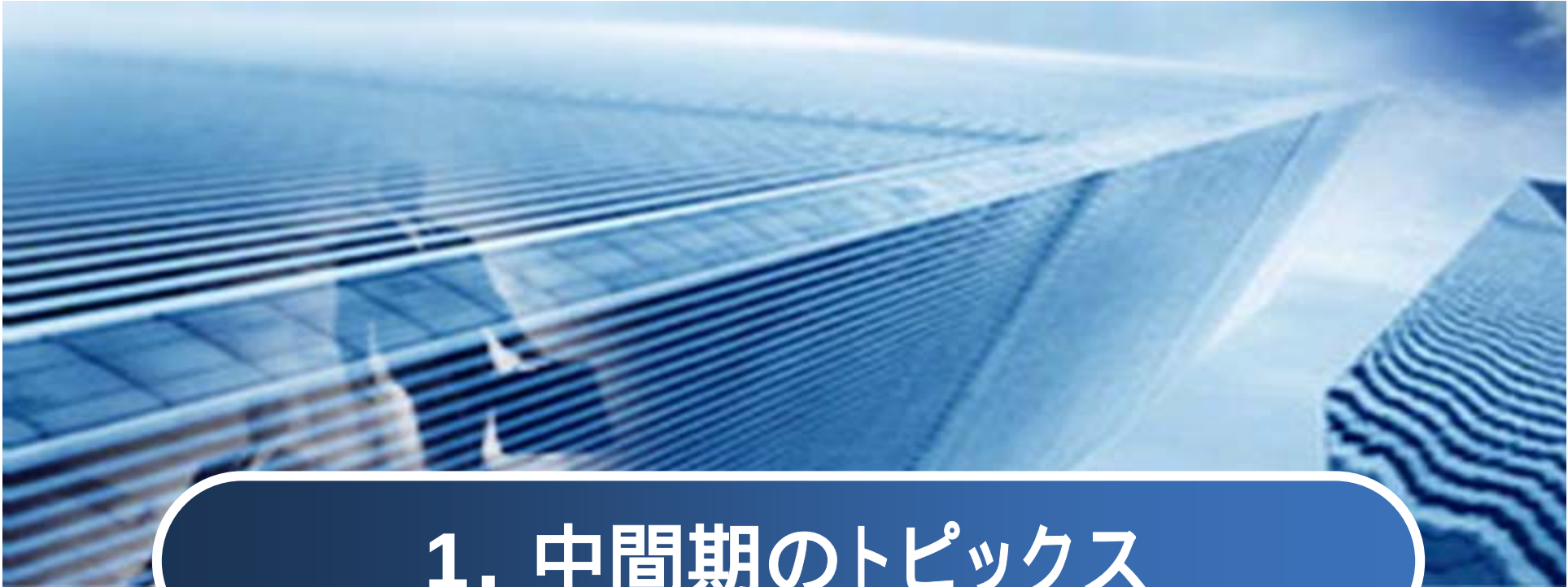
1. 中間期のトピックス

2. 2008年3月期 中間決算概要

3. 下期計画と通期業績予想

4. 事業戦略並びに進捗状況

5. 中期経営計画の概要



1. 中間期のトピックス

中間期のトピックス(1):お詫びとご報告

- **緊急点検・強度確保対策の経過報告**
 - － 6月:エレベータ・ロープのストランド切れ3万6千台緊急点検・対応完了
 - － 6月:エレベーター部材の強度不足に伴う補強
 - 対象560台中、557台強度確保の工事完了
 - 改修工事等4億円の特損計上
 - 第三者調査委員会による検証
(品質管理体制の見直し / 社内処分の実施 / 取引業者への損害賠償請求)
 - － 9月:シーブ磨耗による緊急点検
- **内部統制・コンプライアンス体制の強化！**
 - － 今回の事態を真摯に反省、更なる管理体制強化を推進
 - － 内部監査室の設置
 - － ガバナンス体制の強化(社外取締役3名体制)

中間期のトピックス(2):事業の状況

■ 事業環境

- 国内:順調に拡大する民間の需要は引き続き堅調
鋼板の強度問題等による上期受注の遅れ、下期以降ブランド・
受注回復へ
- 海外:北米は集合住宅需要は減退なるも、オフィス・商業施設需要は堅調
中国は、集合住宅・オフィス・商業施設全て需要拡大
南アジアは、景気拡大に伴う需要が拡大
- 単価・コスト:競合激化並びに原材料の高騰による原価上昇圧力

■ M E B O に関して

- 4月23日:ダルトン社からM E B Oの提案
- 5月9日:ダルトン社へ当社から質問
- 10月9日:ダルトン社より回答受領 当社にて検討中

中間期のトピックス(3):業績面サマリー

単体(国内)

強度確保対策の直接費用(実績+見込み)、特損4億円を計上。
 期初計画の受注獲得に影響あり、来期数値を見据え、下期国内受注は回復に注力！

連結(海外)

中国・南アジア地域の景気拡大を受け、海外受注は大型シンボリック案件などを
 受注し順調に推移。

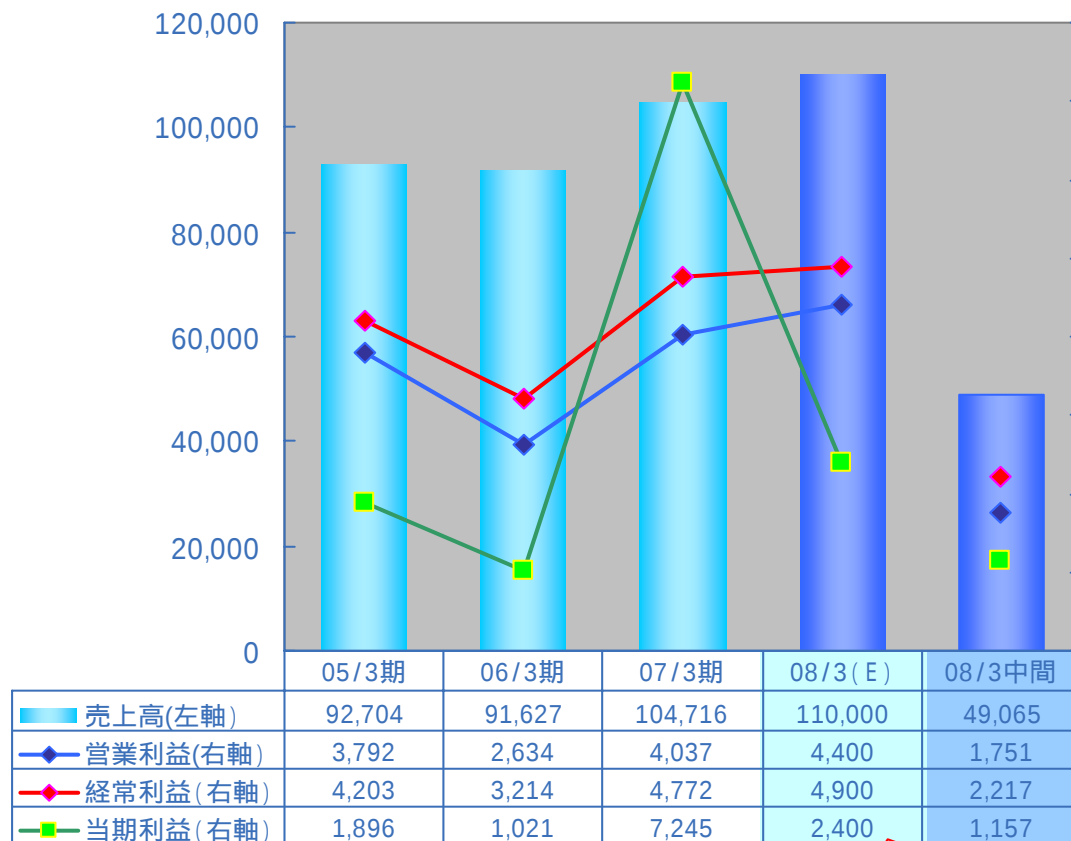
(単位:百万円)

	連結		単独	
	金額	前年比	金額	前年比
売上高	49,065	4.6%	22,180	1.4%
営業利益	1,751	7.2%	644	26.9%
経常利益	2,217	7.5%	2,248	29.6%
当期純利益	1,157	82.7%	1,162	83.0%
E P S (中間)	12.36円	(前年6.76円)	12.42円	(前年6.78円)

業績推移(連結)

売上高 / 利益

(単位:百万円)

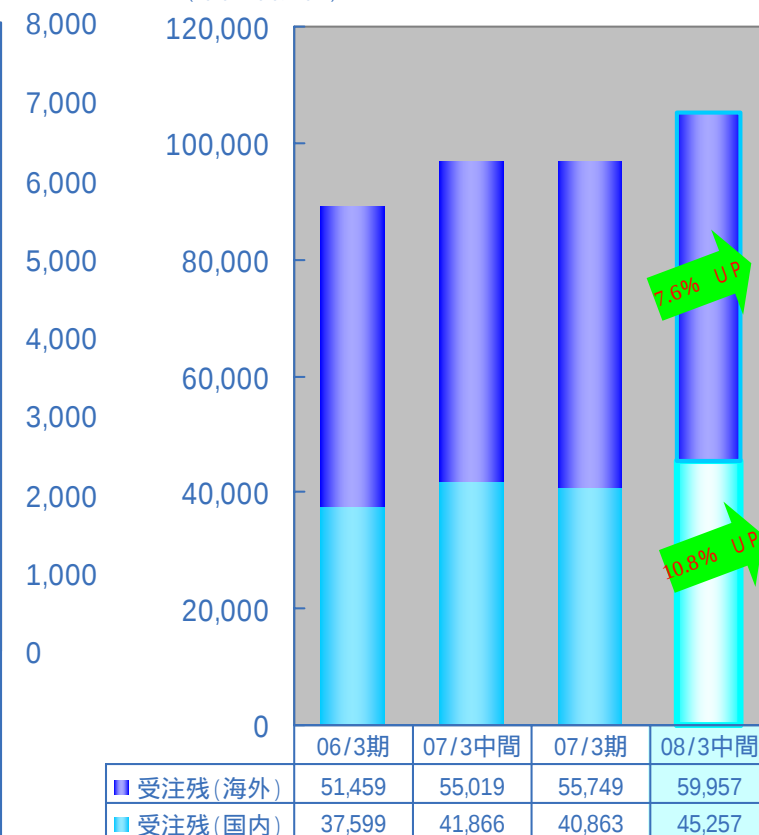


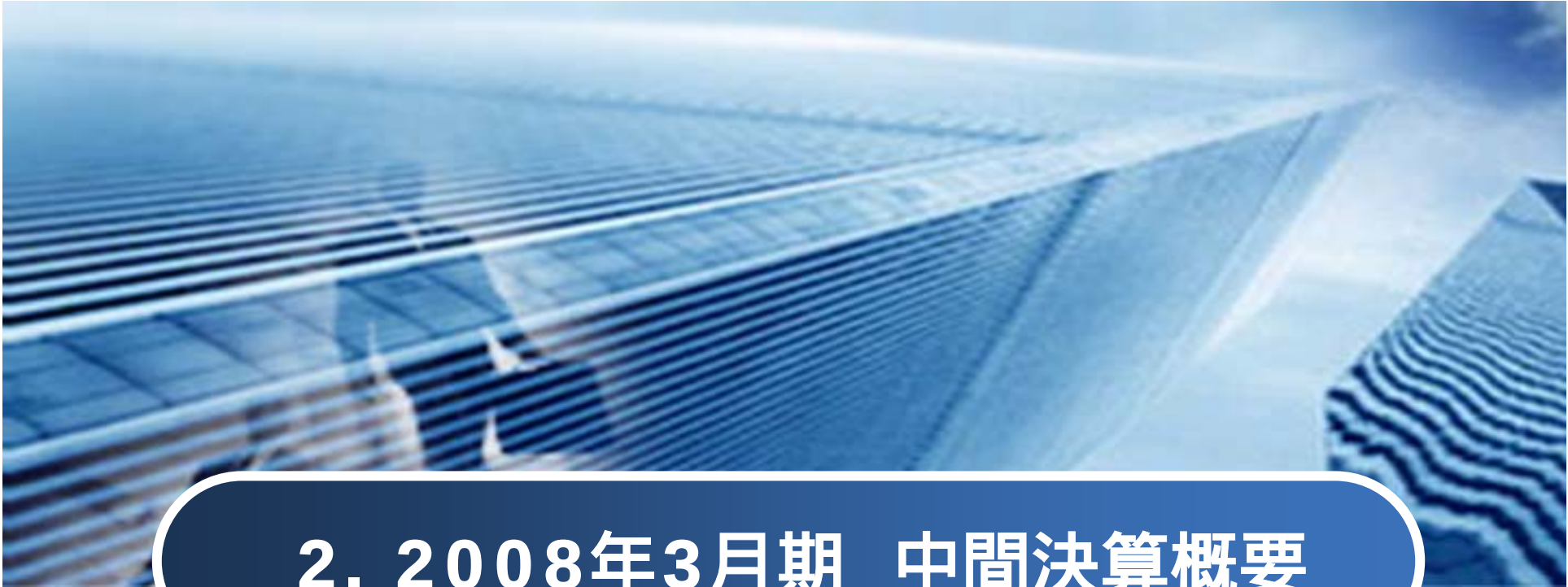
固定資産売却益等の特別利益計上

連結当期利益を▲3億円減額修正

受注残(半期へ'ス)

(単位:百万円)



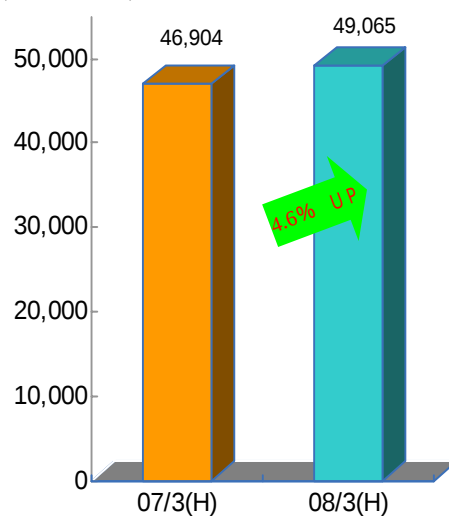


2. 2008年3月期 中間決算概要

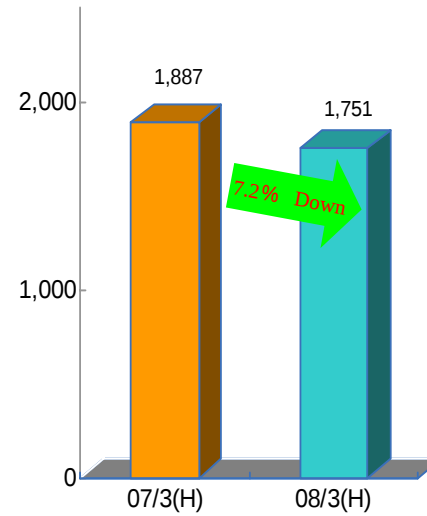
2008年3月期中間:決算サマリー(連結)

売上高

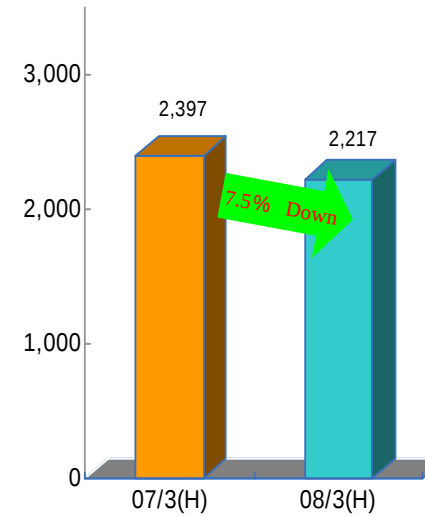
(単位:百万円)



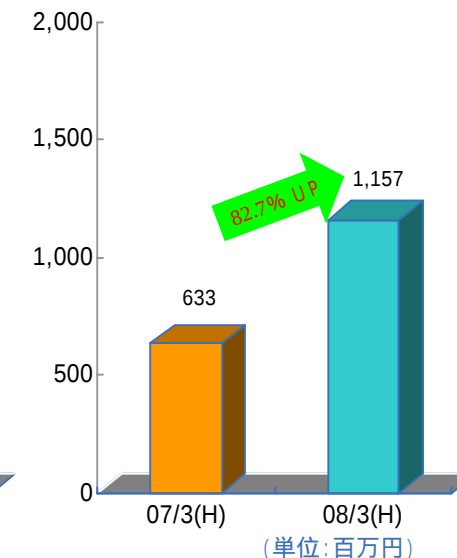
営業利益



経常利益



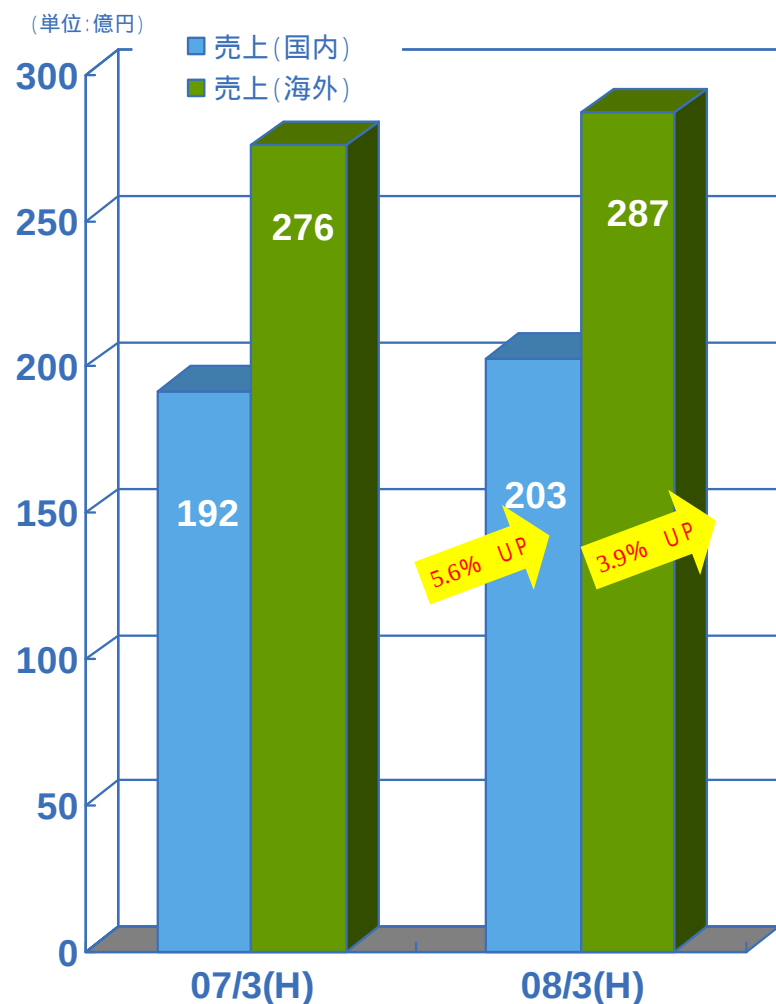
当期純利益



	07/3期 中間	期初予想	08/3期 中間	前年比(±%)	内容
売上高	46,904	49,000	49,065	4.6%	前年比売上内訳: 国内5.6%増、海外3.9%増
売上総利益	9,216		9,474	2.8%	粗利率19.3%、前年比 0.3ポイント
販売・一般管理費	7,328		7,722	5.4%	販管費率15.7%、前年比0.1ポイント
営業利益	1,887	1,700	1,751	7.2%	営業利益率3.6%、前年比 0.4ポイント
経常利益	2,397	2,000	2,217	7.5%	経常利益率4.5%、前年比 0.6ポイント
当期利益	633	1,400	1,157	82.7%	製品改修特別損失約4億円
EPS(円)	6.76	14.96	12.36	82.8%	

*米ドル平均為替レート 当中間期120円、通期118円を想定

2008年3月期中間：国内 / 海外別売上高



■ 売上高：490億円(前年比 4.6%)

- － **国内**：前年比 5.6%
新設需要拡大(マンション、ショッピングセンター等)
・標準型マシンルームレス・エレベータ
「エシード-α」の販売拡大
モダニゼーション需要
・リニューアルパッケージの拡販
- － **海外**：前年比 3.9%
アジア地域、特に南アジア市場の需要拡大

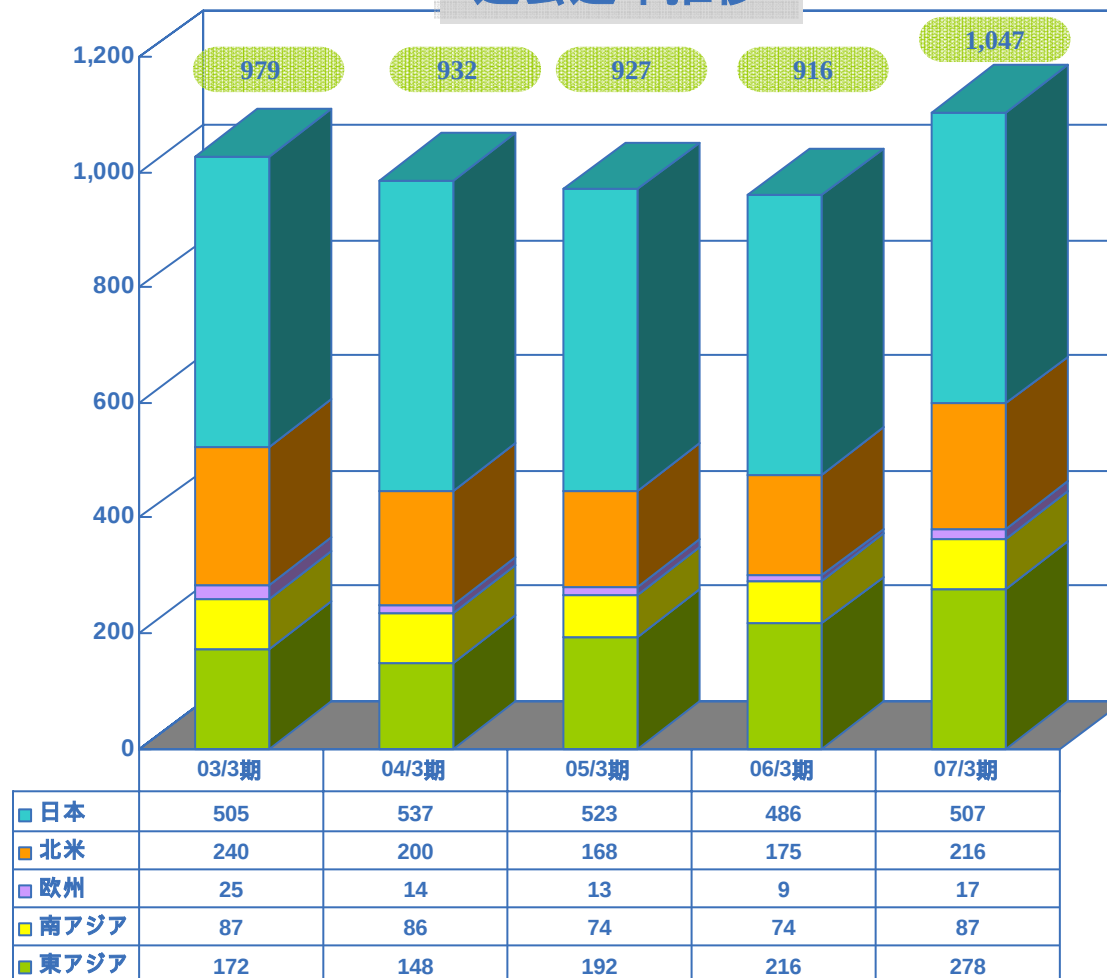
■ 中間末受注残高：1,052億円 (前期末比 8.9%)

- － 国内10.8%(第2Q：スローダウン)
- － 海外7.6%

2008年3月期中間:地域別売上高推移

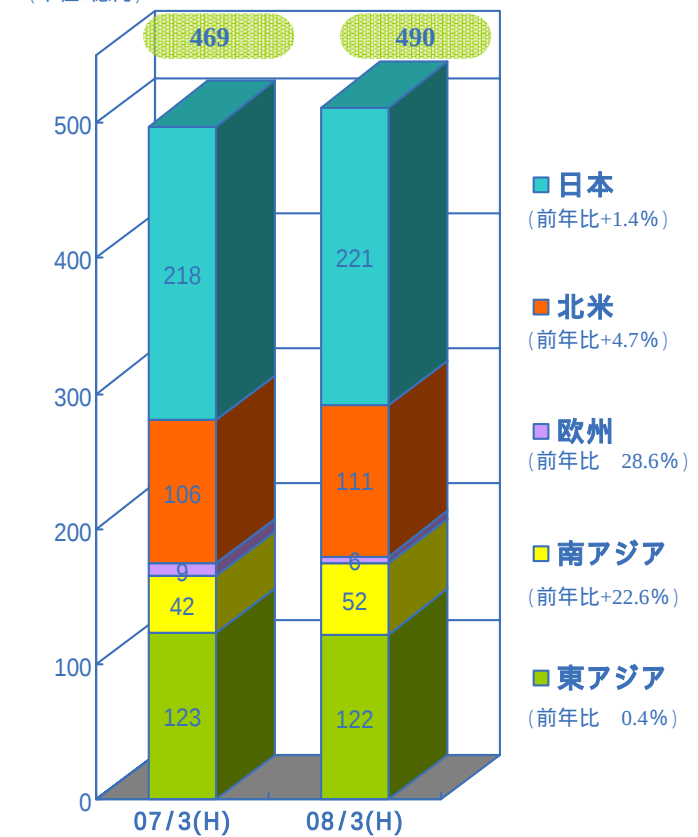
(単位:億円)

過去通年推移



中間期比較

(単位:億円)



2008年3月期中間:地域別売上高・営業利益

(単位:億円)

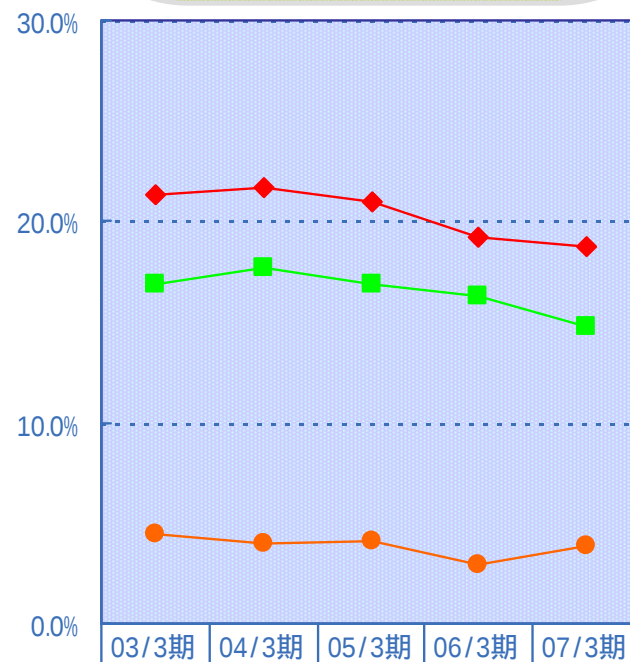
	売上高			営業利益		
	当 中 間	前 中 間	前年比(%)	当 中 間 (利益率%)	前 中 間 (利益率%)	前年比
日 本	221	218	1.4%	6.4 (2.9%)	5.0 (2.3%)	➡ 1.4
北 米	111	106	4.7%	0.8(0.8%)	1.7(1.6%)	➡ 0.9
欧 州	6	9	28.6%	0.0 (0.3%)	0.1(1.4%)	➡ 0.1
南アジア	52	42	22.6%	4.9 (9.3%)	3.9 (9.1%)	➡ 1.0
東アジア	122	123	0.4%	7.1 (5.8%)	12.5 (10.2%)	➡ 5.4
小 計	515	500	-	17.6	19.6	
内部取引消去	24	31	-	0.1	0.8	
連 結	490	469	4.6%	17.5	18.8	
			営業利益率	3.6%	4.0%	

- 日本: モダニゼーション・修理工事等の増加により営業利益率改善
- 北米・欧州: 利益率重視の売上で、営業損失は継続的に縮少
- 南・東アジア: 南アジアは、売上増に伴い利益拡大。中国は熾烈な価格競争と原材料価格の上昇により営業利益率が大幅ダウン

財務指標推移

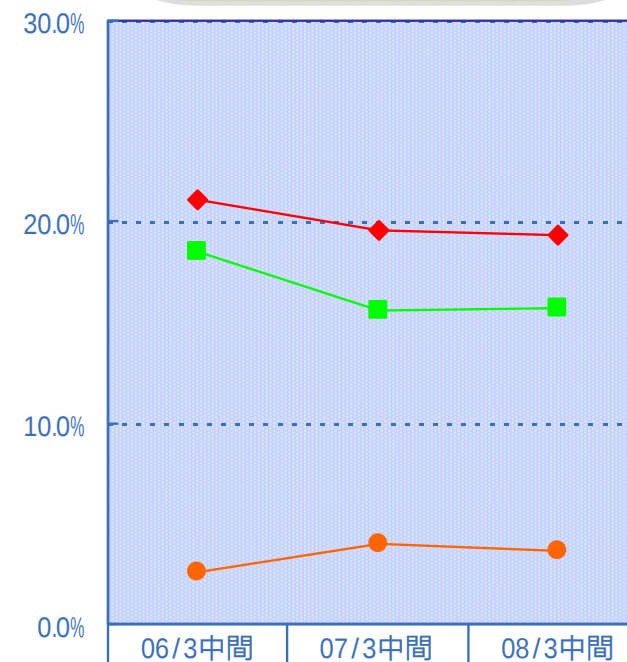
■ 売上総利益率、販管費率、営業利益率の推移

通期ベースの推移



	03/3期	04/3期	05/3期	06/3期	07/3期
売上総利益率	21.3%	21.7%	21.0%	19.2%	18.7%
販管費率	16.9%	17.7%	16.9%	16.3%	14.8%
営業利益率	4.4%	4.0%	4.1%	2.9%	3.9%

中間期の比較



	06/3中間	07/3中間	08/3中間
売上総利益率	21.1%	19.6%	19.3%
販管費率	18.5%	15.6%	15.7%
営業利益率	2.6%	4.0%	3.6%

2008年3月期中間:連結B / S、CF

(単位:百万円)

	07/3期	08/3中間	増減 %	コメント
流動資産	75,832	71,516	5.7%	
現金・預金	23,317	19,467	16.5%	短期借入金返済に充当
受取手形・売掛金	29,984	28,297	5.6%	
たな卸資産	16,964	21,365	25.9%	下期売上増に対応した、たな卸積み増し
その他	5,566	2,385	57.1%	土地売却代金入金による未収金の減少
固定資産	47,056	46,577	1.0%	
有形固定資産	29,108	29,088	0.1%	
無形固定資産	4,166	4,344	4.3%	
投資その他資産	13,782	13,144	4.6%	
資産合計	122,889	118,093	3.9%	
流動負債	42,521	36,962	13.1%	
支払手形・買掛金	12,537	12,430	0.9%	
短期借入金	13,140	8,115	38.2%	日本・北米の短期借入金減少
前受金	6,160	7,960	29.2%	
その他	10,683	8,456	20.8%	設備未払金の減少
固定負債	8,580	8,435	1.7%	
純資産合計	71,786	72,695	1.3%	
自己資本比率%	54.3%	57.3%	-	
負債・資本合計	122,889	118,093	3.9%	

(単位:百万円)

	07/3中間	08/3中間
営業キャッシュフロー	889	876
投資キャッシュフロー	2,111	1,012
フリーキャッシュフロー	1,222	135
財務キャッシュフロー	637	6,625
現金・現金同等物期末残高	18,720	12,502

短期借入金の返済約53億円

【営業キャッシュフロー】

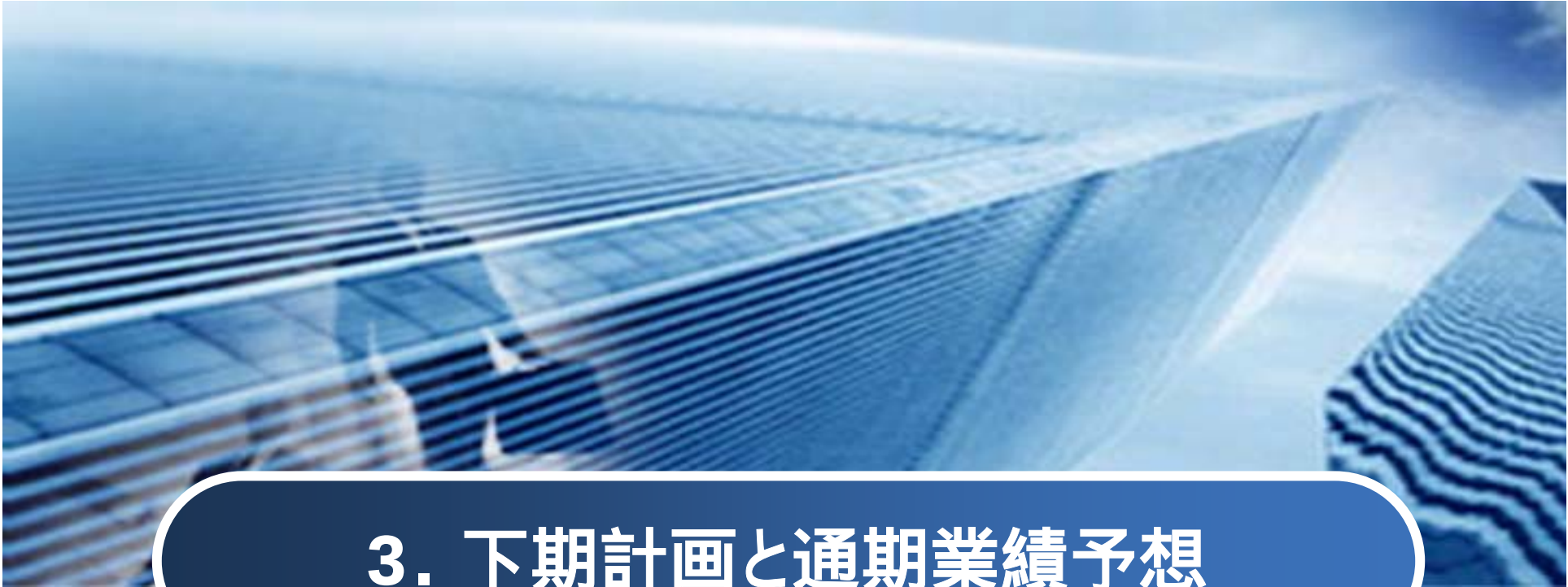
税金等調整前純利益・減価償却費の計上
たな卸資産の増加等

【投資キャッシュフロー】

土地売却代金回収33億円、
固定資産取得 19億円、
定期預金の収支純額 23億円

【財務キャッシュフロー】

短期借入金返済・配当等支払 59億円



3. 下期計画と通期業績予想

通期連結業績の進捗状況

(単位: 億円)

	通期修正(予) 2007年10月23日	中間実績	下期計画	中間/通期(予) (%)
売上高	1,100	490	610	44.5%
国内売上	480	203	277	42.3%
海外売上	620	287	333	46.3%
営業利益	44	17	27	38.6%
経常利益	49	22	27	44.9%
当期利益	24	11	13	45.8%
受注額	1,130	552	578	48.8%

2008年3月期業績予想

(単位:百万円)

単独	2007/3期 実績	2008/3期 予想	前期比
売上高	50,797	53,000	4.3%
営業利益	1,058	1,200	13.3%
経常利益	2,305	2,800	21.5%
当期利益 EPS	5,481 58.55円	1,400 14.96円	74.5%

連結	2007/3期 実績	2008/3期 予想	前期比
売上高	104,716	110,000	5.0%
営業利益	4,037	4,400	9.0%
経常利益	4,772	4,900	2.7%
当期利益 EPS	7,245 77.32円	2,400 25.58円	66.9%

*平均為替レート:1米ドル118円を前提

■ 新中期経営計画スタート

“Regeneration for Quality”(品質維新)

- ・安全と品質を最優先に、顧客の信頼と期待に応える
- ・グローバルで評価されるナンバーワン商品を提供する
- ・企業体質を革新して、持続的成長基盤を強固にする

■ 設備投資計画

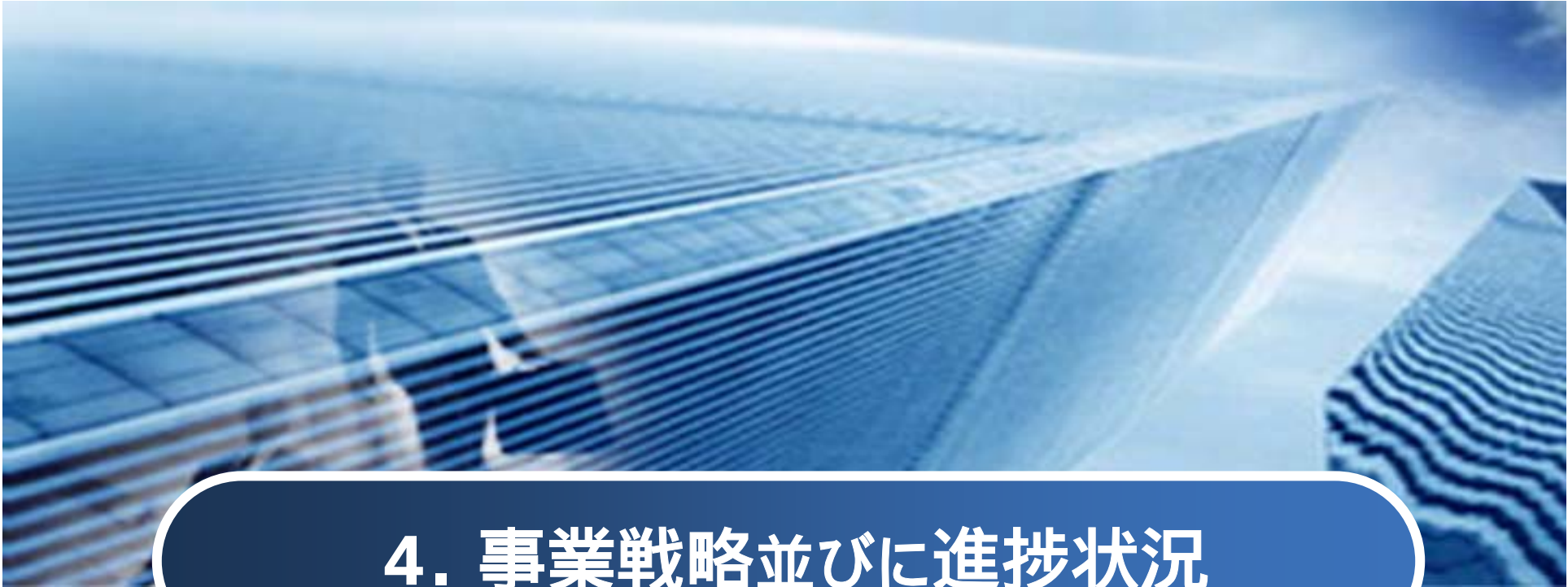
前期総額 47億円(日本 34億円、南・東アジア12億円、北米1億円)

今期計画 24億円(日本 17億円、南・東アジア6億円)

■ 配当

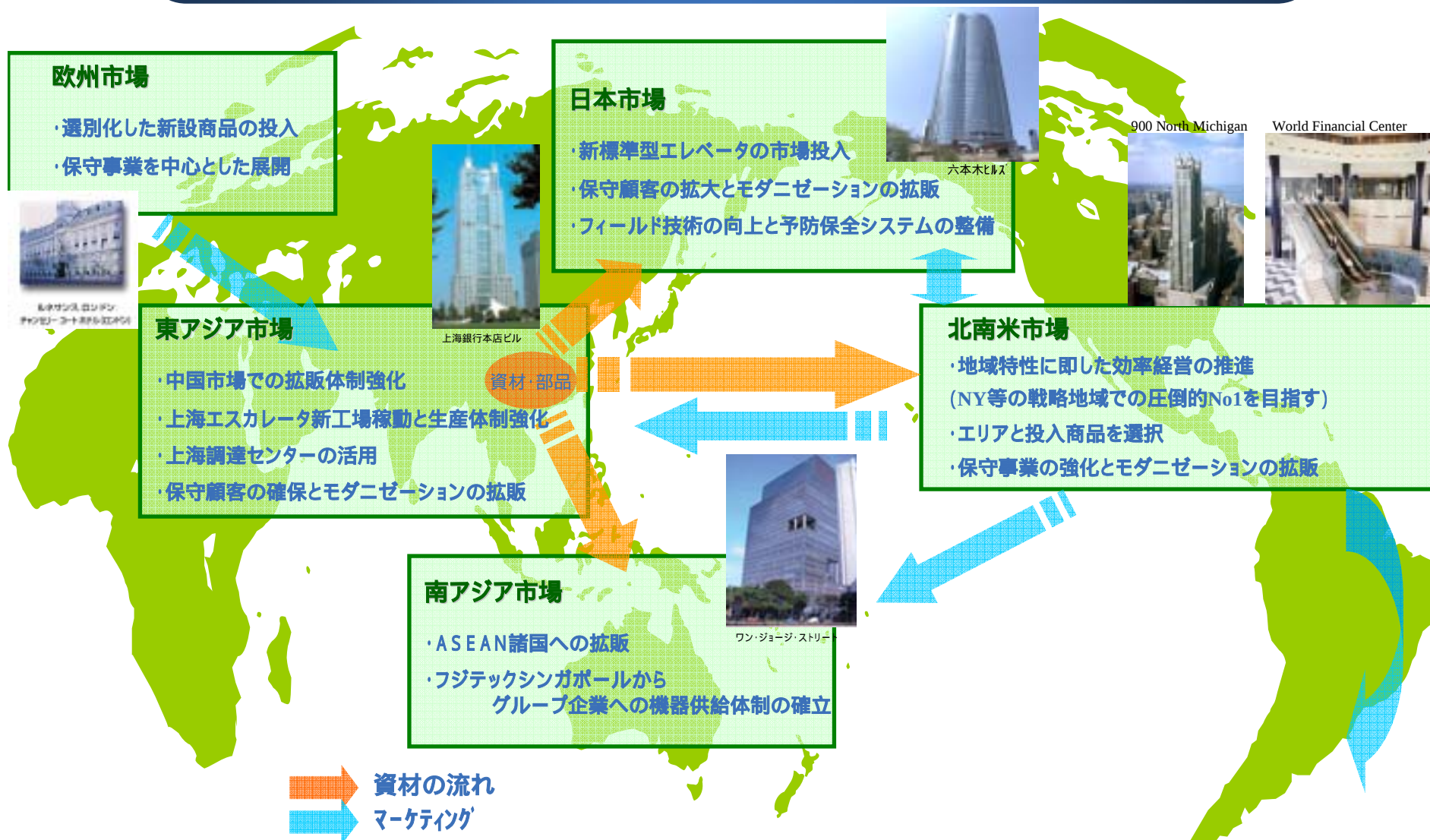
前期総額 12円(中間5円、期末7円 = 普通5円+特別2円)

今期計画 12円(中間5円、期末7円 = 普通5円+記念2円)



4. 事業戦略並びに進捗状況

グローバル戦略



国内での施策(1)

- 2008年春：新製品(標準型エレベータ)投入
 - － 受注開始は、来期以降
 - － 技術力・品質の優位性並びに、価格競争力のある戦略製品
- 安心・安全へのブランド回復
 - － 品質管理体制強化
 - － フィールド技術(保守)の強化
 - － 保守と定期検査の業務担当部門を分離
 - － CS強化



国内での施策(2)

- 国内のモダニゼーション・メンテナンス需要拡大へ対応
新製品は、本社BigWingにて研究・開発
 - － モダニゼーション対応は、旧本社(大阪府茨木市)を拠点へ
 - 新規設備:モダニゼーションセンター
部品センター
 - － フィールド技術(保守)の強化、下記施設を旧本社(大阪府茨木市)に設置
 - 広域防災対応ヘッドクォーター(西:茨木、東:高輪)
 - フィールド技術研究所
 - フィールド研修センター
- 兵庫県豊岡市のエスカレータ工場リニューアル
 - － R & D・生産・テストの一貫体制へ

【豊岡エスカレータ新工場完成予想図】



海外での事業戦略と受注状況

- 今期、インドへ展開の布石
 - インド東部チェンナイにエンジニアリングセンター開設
- 順調な海外受注の獲得
 - 北アメリカ・東アジア・南アジア市場の受注順調
 - 中国市場
 - 上海華昇フジテック：北京地下鉄エスカレータ大量受注
 - 華昇フジテック：世界屈指の五つ星ホテル“ザ・ペニンシュラ上海”向けエレベータの受注



“北京地下鉄4号線”完成イメージ図

海外での受注状況(2)



フジテック・アメリカ
“ニューヨーク・ジャイアンツ”の新スタジアム



フジテック・カナダ
地上37階の最先端オフィスビル



フジテック・ホンコン
地上41階の超高層オフィスビル



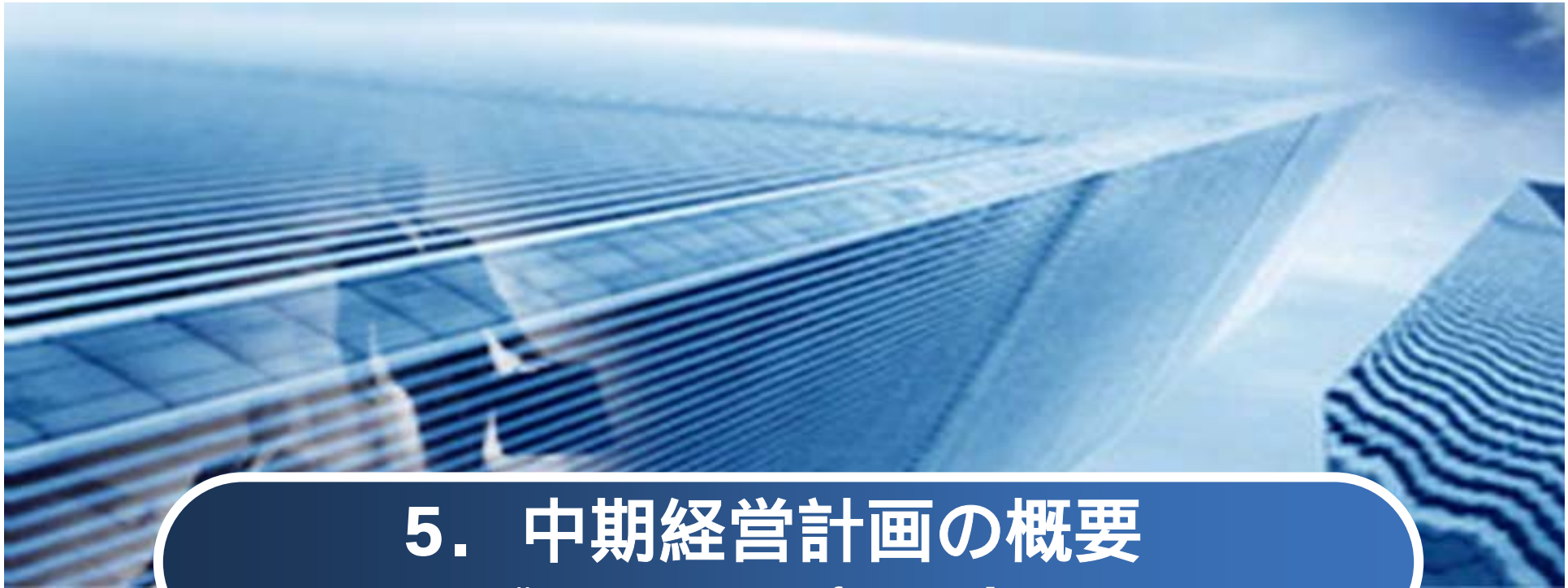
フジテック・台湾
地上15階のケルティ本社ビル



フジテック・シンガポール
大型商業施設“シティ・スクエア・モール”



フジテック・マレーシア
大型商業複合施設“ジャヤ・ジャスコ・ブキットインギ”



5. 中期経営計画の概要

“Regeneration for Quality”



中期経営計画 (2007-2009)

Regeneration for Quality

(品質維新)

新中期経営計画: 次期3ヵ年につなげる基盤づくり

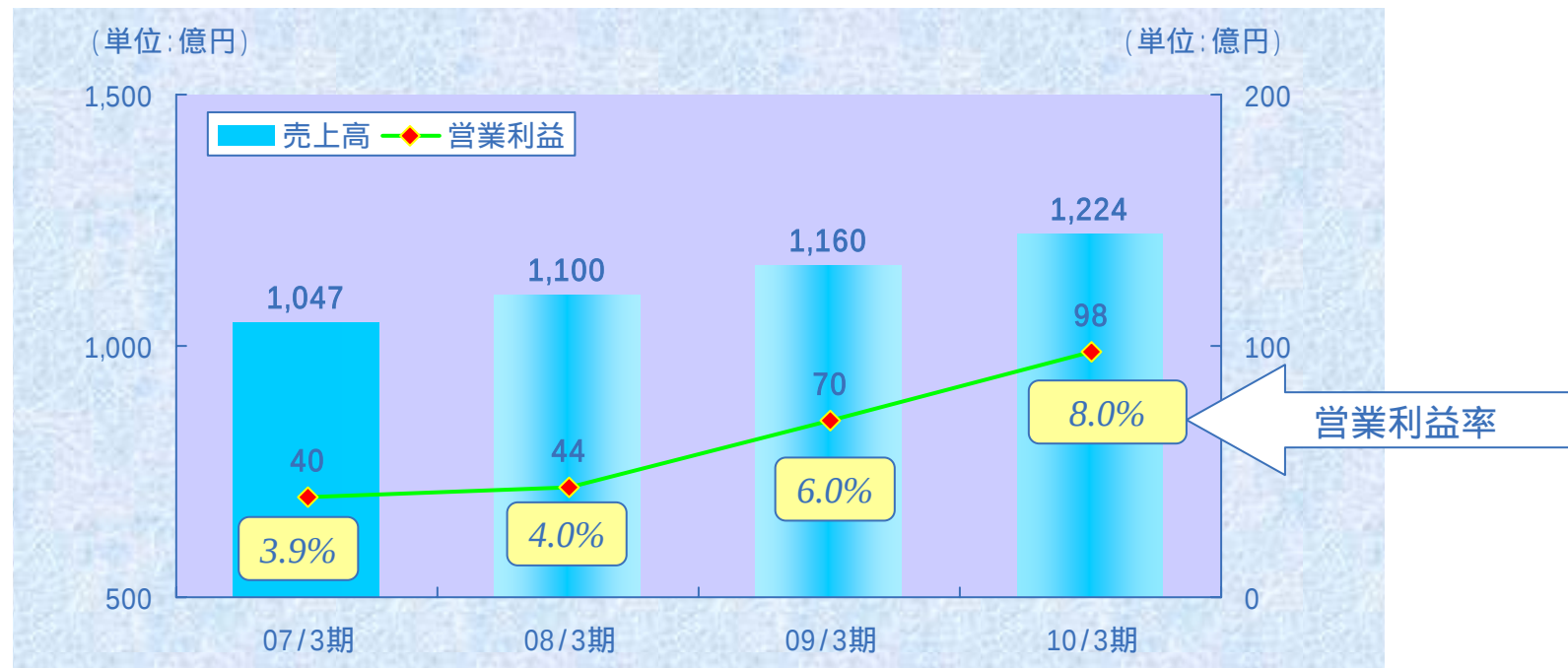
経営ビジョン

- 安全と品質を最優先に、顧客の信頼と期待に応える
- グローバルで評価されるナンバーワン商品を提供する
- 企業体質を革新して、持続的成長基盤を強固にする

戦略ポイント

- 新製品投入・中国からの資材調達による粗利率の向上、並びに固定費圧縮による営業利益率8%を達成！
- 国内、並びにグローバル市場でのシボリックルへの納入・実績を背景に、成長市場(中国・中東・インド等)でのシェア拡大
- 成熟市場でのメンテナンス、モダニゼーションの拡大による収益力強化

中期経営計画の目標



主な方策

新標準型エレベータを日本市場へ投入、および同商品のグローバル市場への展開
メンテナンス、モダニゼーション事業での収益向上
中国市場でのエレベータ・エスカレータ拡販と生産体制ならびに資材調達体制の強化
ASEAN諸国での拡販
欧米市場の地域特性に即した効率経営の推進

フジテックのグローバル展開

FUJITEC UK LTD.
FUJITEC DEUTSCHLAND GmbH
○ FUJITEC EGYPT CO., LTD.
● FUJITEC SAUDI ARABIA CO., LTD.

- 連結子会社
- 非連結子会社
- 関連会社

欧州・中近東

東アジア

フジテック株式会社
日本

北南米

FUJITEC (HK) CO., LTD. (生産拠点)
 兩虎子会社1社(HONG KONG)
 FUJITEC TAIWAN CO., LTD. (生産拠点)
 FUJITEC KOREA CO., LTD. (生産拠点)
 中国:HUASHENG FUJITEC ELEVATOR CO., LTD. (生産拠点)
 中国:SHANGHAI HUASHENG FUJITEC ESCALATOR CO., LTD. (生産拠点)
 ○中国:FUJITEC SHANGHAI TECHNOLOGIES CO., LTD. (研究開発拠点)
 ○中国:FUJITEC SHANGHAI SOURCING CENTER CO., LTD. (調達拠点)

- FUJITEC AMERICA, INC.
- FUJITEC CANADA, INC.
- o FUJITEC VENEZUELA C.A.
- o FUJITEC ARGENTINA S.A.
- o FUJITEC PACIFIC, INC.

南アジア

FUJITEC SINGAPORE CORPN. LTD. (生産拠点)
P.T. FUJITEC INDONESIA (生産拠点)
販売子会社5社(SINGAPORE, MALAYSIA, INDIA,
PHILIPPINES, VIETNAM)

2008/3期 中間
売上高
490億円

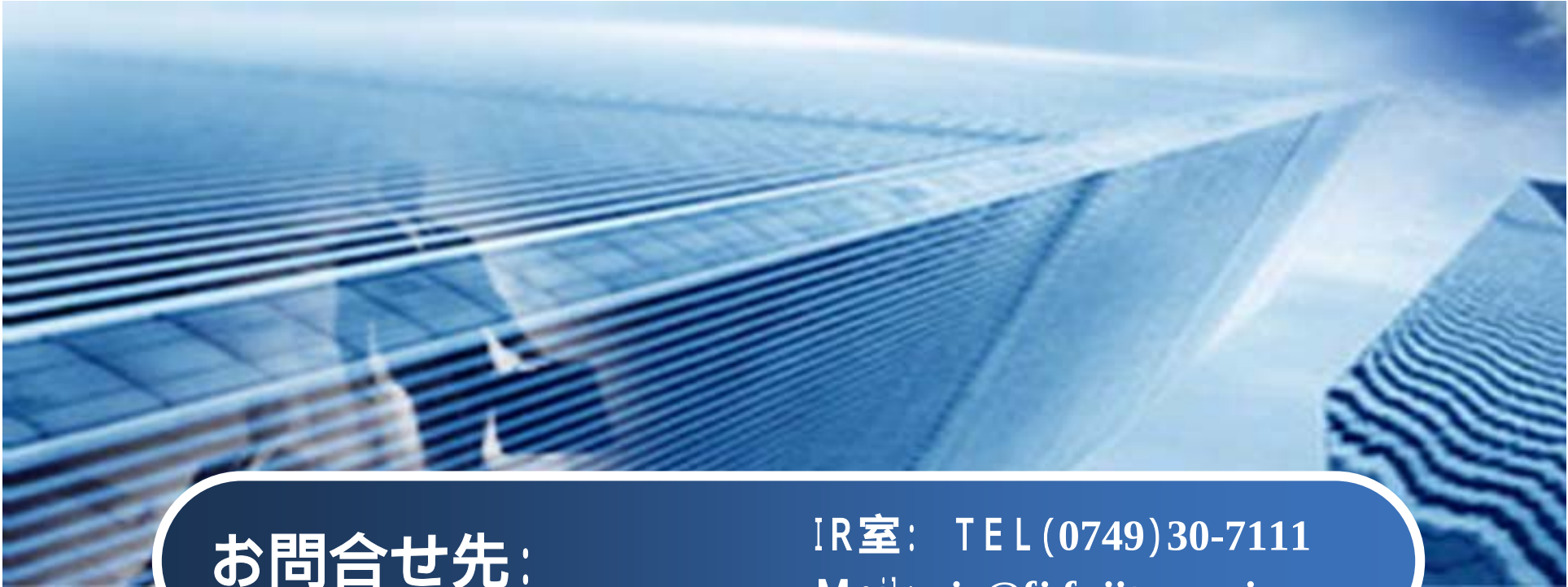
地域	割合
日本	45.2%
東アジア	25.0%
北米	22.7%
南アジア	10.7%
欧州	1.4%
*内部取引消去	5.0%

*内部取引消去 5.0%

27

会社概要 (2007年9月末基準)

- 商号: **フジテック株式会社 (FUJITEC CO., Ltd.)**
- 設立: 1948年2月 (1963年5月上場)
- 本社所在地: 滋賀県彦根市宮田町591-1(ビッグウイング)
- 事業内容: エレベータ、エスカレータ、動く歩道、立体駐車設備、新交通システムなどの研究開発・製造・販売・据付・メンテナンス
- 資本金: **125億33百万円 (発行株式数 93,767,317株)**
- 役員: **代表取締役社長 内山 高一** 取締役会長
取締役4名 社外取締役3名 監査役 常勤1名(ほか社外2名)
- 従業員数: 連結7,228名(単独2,582名)
- グループ企業: 関係会社28社(内、**連結子会社17社**)
(北南米、東アジア、南アジア、中国、欧州・中近東)
- 監査法人: 大阪監査法人
- 取引銀行: りそな銀行、みずほコーポレート銀行、三菱東京UFJ銀行
- 主要株主: (株)ウチヤマ・インターナショナル10.7%、メゾン・バンク 8.9%、
(株主数3,630名) 日本マスタートラスト6.0%、富士電機5.4%、シーシーエムエル5.3%



お問合せ先:

IR室: TEL (0749) 30-7111

Mail: ir@fj.fujitec.co.jp

<http://www.fujitec.co.jp>

本資料は、2007年9月中間決算の業績および中期経営計画に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。又、本資料は2007年9月末日現在のデータに基づいて作成しております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性・完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後予告なしに変更することがあります。